




IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage  
Connection バージョン 2.1  
インストールガイド



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2013 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

本書に使用されている商標 : Dell™、Dell のロゴ、Dell Boomi™、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、Compellent™、KACE™、FlexAddress™、Force10™、Venue™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core® および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™ および AMD Sempron™ は同社の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Internet Explorer®、MS-DOS®、Windows Vista® および Active Directory® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat® Enterprise Linux® は米国および/またはその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® および SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation またはその関連会社、もしくはその両者の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer® および XenMotion® は米国および/またはその他の国における Citrix Systems, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、vMotion®、vCenter®、vCenter SRM™ および vSphere® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。IBM® は International Business Machines Corporation の登録商標です。

2013 - 08

Rev. A00

# 目次


<b>1 はじめに.....</b>	<b>5</b>
デルサポートサイトからのマニュアルへのアクセス.....	5
<b>2 作業を開始する前に.....</b>	<b>7</b>
管理を行うシステムの要件.....	7
管理下システムの要件.....	7
Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection ファイルおよびフォルダの詳細.....	8
Netcool/OMNIBus コンポーネントのための統合詳細.....	9
<b>3 Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection のインストール.....</b>	<b>11</b>
プローブ統合のインストール.....	11
ObjectServer 統合のインストール.....	12
64 ビット linux を実行しているシステムでの IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.4 向け Dell ツールの再設定.....	13
ObjectServer での Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの設定.....	14
ObjectServer での OpenManage Essentials コンソールの設定.....	14
ObjectServer での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定.....	14
デスクトップ統合のインストール.....	15
Web GUI 統合のインストール.....	16
Dell SNMP コンフィギュレーターユーティリティ.....	17
Web GUI サーバーでの Dell ツールメニューのアップデート.....	18
ウェブ GUI での Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの設定.....	18
Web GUI での Dell OpenManage Essentials コンソールの設定.....	19
Web GUI での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定.....	19
Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの Dell Server Administrator コンソールの設定.....	20
Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの iDRAC コンソールの設定.....	20
Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの Dell Chassis Management Controller コンソールの設定.....	20
Linux を実行しているシステムにおける Web GUI での Dell PowerEdge VRTX Chassis Management Controller コンソールの設定.....	20
Linux を実行しているシステムにおける Web GUI での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定.....	21
Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの Dell Remote Access Controller コンソールの設定.....	21
<b>4 Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection のアップグレード.....</b>	<b>23</b>

<b>5 Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNIBus のアンインストール.....</b>	<b>25</b>
プローブ統合のアンインストール.....	25
ObjectServer 統合のアンインストール.....	25
デスクトップ統合のアンインストール.....	26
ウェブ GUI 統合のアンインストール.....	27
<b>6 デルへのお問い合わせ.....</b>	<b>29</b>


## はじめに

Dell OpenManage Connection for IBM Tivoli Netcool/OMNIBus は、以下に対するイベント監視およびコンソール起動機能を提供します。

- Dell PowerEdge および PowerVault システムの第 9 世代 (9G) から第 12 世代 (12G)。すべての既存の世代のシステムは、Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) を使用したエージェントベースの帯域内モードをサポートします。12G システムは、Integrated Dell Remote Access Controller 7 (iDRAC7) を使用したエージェントフリーの帯域外モードもサポートします。
- Dell PowerEdge および PowerVault システムの第 9 世代から第 12 世代向け Integrated Dell Remote Access Controller 7 (iDRAC7)、Integrated Dell Remote Access Controller 6 (iDRAC6) および Dell Remote Access Controller 5 (DRAC5)。
- Dell シャーシ: Dell PowerEdge M1000e (Dell Chassis Management Controller)、Dell PowerEdge VRTX (VRTX Chassis Management Controller) および Dell PowerEdge 1955 (Dell Remote Access Controller/Modular Chassis)。
- Dell ストレージデバイス: Dell PowerVault MD Storage Arrays および Dell EqualLogic Storage Arrays。
- Dell ワンツーワンコンソールは以下を起動します。
  - OpenManage Server Administrator (OMSA) コンソール
  - Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) ウェブサーバーコンソール
  - Dell Remote Access Controller (DRAC) コンソール
  - Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) コンソール
  - Dell Chassis Management Controller (CMC) コンソール
  - Dell PowerEdge VRTX Chassis Management Controller (VRTX CMC) コンソール
  - Dell EqualLogic Group Manager コンソール
  - Dell PowerVault Modular Disk Storage Management (MDSM) コンソール
- OpenManage Essentials (OME) コンソール
- Dell 12G Server Trap Configuration Information コンソール

 **メモ:** このガイドは、IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.3.1 および IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.4 に精通したシステム管理者向けのものです。

 **メモ:** Dell 帯域外 (OOB) 12G サーバーと Integrated Dell Remote Access Controller 7 (iDRAC7) は、本書では同じ意味で使用されています。

 **メモ:** 本書には、Dell OpenManage Connection Version 2.1 For IBM Tivoli Netcool/OMNIBus のインストールに必要な前提条件とサポートされたソフトウェアに関する情報が含まれています。Dell OpenManage Connection Version 2.1 For IBM Tivoli Netcool/OMNIBus の本バージョンをインストールする前に、[dell.com/support/manuals](https://dell.com/support/manuals) から最新の文書をダウンロードしてください。文書のアクセスの詳細に関しては、「[Dell サポートサイトからの文書へのアクセス](#)」を参照してください。

## デルサポートサイトからのマニュアルへのアクセス

デルサポートサイトからマニュアルにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. [dell.com/support/manuals](http://dell.com/support/manuals) にアクセスします。
2. サービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちですか? セクションの **いいえ** ですべてのデル製品のリストから **選択する** を選択し、**続行** をクリックします。
3. または **製品カテゴリを選択する** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティー** をクリックします。
4. お使いのデル製システムを選択してください - ソフトウェアとセキュリティー セクションで、次の中から必要なリンクをクリックします。
  - **Client System Management**
  - **Enterprise System Management**
  - **Remote Enterprise System Management**
  - **Serviceability Tools**
5. マニュアルを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。



メモ: または、次のリンクを使用してマニュアルに直接アクセスすることもできます。

- Manuals - Enterprise System Management — [dell.com/openmanagemanuals](http://dell.com/openmanagemanuals)
- Manuals - Remote Enterprise System Management — [dell.com/esmmanuals](http://dell.com/esmmanuals)
- Manuals - Serviceability Tools — [dell.com/serviceabilitytools](http://dell.com/serviceabilitytools)
- Manuals - Client System Management — [dell.com/OMConnectionsClient](http://dell.com/OMConnectionsClient)
- OpenManage Connections Manuals - Enterprise System Management — [dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](http://dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement)
- OpenManage Connections Manuals - Client System Management — [dell.com/OMConnectionsClient](http://dell.com/OMConnectionsClient)

## 作業を開始する前に

次の前提条件を完了してください。

### 管理を行うシステムの要件

以下の表には、Netcool/OMNIBus 7.3.1 または Netcool/OMNIBus 7.4 コンポーネントがインストールされているシステムでの、Dell OpenManage Connection 統合要件がリストされています。

表 1. IBM Netcool/OMNIBus コンポーネント要件

コンポーネント	要件	目的
ブローブ	MTTrapd Simple Network Management Protocol (SNMP) プロローブと Netcool/OMNIBus Knowledge Library (NcKL) を設定します。	Dell デバイスによって送信された SNMP トラップの受信と処理。
ObjectServer	confpack ユーティリティをインストールおよび設定します。	Dell 統合自動化トリガ、ツール、メニュー、および変換クラスのインポート。
デスクトップ	デスクトップと Dell デバイス間の SNMP 通信が確立されていることを確認します。	Dell デバイスからの必要な情報の取得。
ウェブ GUI	OMNIBus ウェブ GUI および WAAPI をインストールおよび設定します。 ウェブ GUI サーバーと管理対象 Dell システム間の SNMP 通信チャネルが確立されていることを確認します。	Dell OpenManage Connection に使用できる Dell ツールのサポート。 Dell デバイスからの必要な情報の取得。


### 管理下システムの要件

以下の表には、Dell OpenManage Connection によって管理されるシステムの要件がリストされています。

表 2. 管理下システム要件

Dell デバイス	要件
Windows を実行しているサーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>OMSA バージョン 6.5~7.3</li> <li>SNMP サービス</li> </ul>
Linux を実行しているサーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>OMSA バージョン 6.5~7.3</li> <li>SNMP サービス</li> </ul>
ESXi を実行しているサーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESXi バージョン 4.0 U3 以降</li> <li>OMSA バージョン 6.5~7.3</li> </ul>

Dell デバイス	要件
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNMP サービス</li> </ul>
Dell OOB サーバー (iDRAC7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 1.31.30~1.40.40</li> </ul>
iDRAC6 モジュラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 3.40~3.50</li> </ul>
iDRAC6 モノリシック	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 1.90~1.95</li> </ul>
DRAC5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 1.5~1.65</li> </ul>
DRAC/MC	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 1.5~1.6</li> </ul>
CMC	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 4.3.1~4.45</li> </ul>
VRTX CMC	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 1.0</li> </ul>
Dell EqualLogic ストレージアレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 5.2~6.0</li> </ul>
Dell PowerVault MD ストレージアレイシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファームウェアバージョン 07.80.62.60、07.84.44.60 および 07.84.47.60</li> </ul>

 **メモ:** Dell EqualLogic ストレージアレイとは Dell EqualLogic PS シリーズを意味します。

## Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection ファイルおよびフォルダの詳細

Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection は zip ファイルとしてパッケージされています。これは、Windows および Linux を実行しているシステムに該当します。 [dell.com/support](http://dell.com/support) から **Dell\_OpenManage\_Connection\_for\_OMNIBus\_v2\_1.zip** ファイルをダウンロードできます。 zip ファイルを解凍すると、次のフォルダとファイルが解凍されます。

- **desktop\_integration**
- **objectserver\_integration**
- **probe\_integration**
- **webgui\_integration**
- **Dell\_OMC\_2\_0\_For\_IBM\_OMNIBus\_IG.pdf** — IBM Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection をインストールするための手順が含まれています。
- **Dell\_OMC\_2\_0\_ReadMe.txt** — 新機能の詳細、IBM Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection をインストールするためのシステム要件、インストールの前提条件などが含まれています。
- **license\_en.txt** — IBM Netcool/OMNIBus のライセンス契約が含まれています。


対応する Netcool/OMNIBus コンポーネントにフォルダの内容を展開して、サポートされている Dell デバイスを監視します。



## Netcool/OMNIBus コンポーネントのための統合詳細

以下の表には、Dell OpenManage Connection 向けの Netcool/OMNIBus コンポーネントと統合フォルダがリストされています。Dell OpenManage Connection の統合ファイルを、対応するフォルダから Netcool/OMNIBus コンポーネントフォルダに展開してください。

表 3. Netcool/OMNIBus コンポーネント


コンポーネント	統合フォルダ
<b>probe_integration</b>	サーバー、OOB サーバー、DRAC/MC、iDRAC6、DRAC5、CMC、VRTX CMC、Dell EqualLogic ストレージアレイおよび Dell PowerVault MD ストレージアレイ用のルールとルックアップテーブルファイルが含まれています。
<b>objectserver_integration</b>	エクスポートされた Dell 統合自動化トリガ、ツール、メニュー、および変換クラスが含まれています。
<b>desktop_integration</b>	以下を行うために必要なユーティリティまたはツールが含まれています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• SNMP コミュニティ名文字列の設定。</li><li>• Netcool/OMNIBus デスクトップからの Server Administrator コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus デスクトップからの iDRAC7 コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus デスクトップからの CMC コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus デスクトップからの VRTX CMC コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus デスクトップからの DRAC/MC、iDRAC6 および DRAC5 コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus デスクトップからの Dell 12G Server Trap Configuration Information の起動。</li></ul>
	 <b>メモ:</b> この統合は、EqualLogic および共通の Dell ツールには該当しません。
<b>webgui_integration</b>	以下を行うために必要な Dell 統合ツール、メニュー、およびアプリケーションが含まれています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• SNMP コミュニティ名文字列の設定。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの Server Administrator コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの EqualLogic Group Manager コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの iDRAC コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの CMC コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの VRTX CMC コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの DRAC5、iDRAC6 および DRAC/MC コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの OpenManage Essentials (OME) コンソールの起動。</li><li>• Netcool/OMNIBus Web GUI からの MDSM コンソールの起動。</li></ul>

- Netcool/OMNIBus Web GUI からの Dell 12G Server Trap Configuration Information の起動。
- Netcool/OMNIBus Web GUI からの Dell Connections License Manager (DCLM) コンソールの起動。

# Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage Connection のインストール

Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage Connection をインストールするには、Netcool/OMNIbus コンポーネントをインストールしたシステムでコンポーネント固有ファイルを解凍して展開する必要があります。コンポーネント固有ファイルの解凍の詳細に関しては、「[Netcool/OMNIbus コンポーネントのための統合詳細](#)」を参照してください。


ファイルの展開を開始する前に、次を行ってください。

1. [dell.com/support](#) から **Dell\_OpenManage\_Connection\_for\_OMNIbus\_v2\_1.zip** ファイルをダウンロードして、フォルダに内容を解凍します。zip ファイルの内容の詳細に関しては、「[Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage Connection ファイルとフォルダの詳細](#)」を参照してください。  
 **メモ:** 監視の要件に従って、zip ファイルの中身を抽出してください。
2. Netcool/OMNIbus コンポーネントをインストールしたシステムのいずれかに Netcool システム管理者としてログインします。

## プローブ統合のインストール

プローブ統合フォルダには、サポートされた Dell デバイスのルール、ルックアップおよびバージョンファイルが含まれています。

サーバー、iDRAC7、iDRAC6、DRAC5、DRAC/MC、CMC、Dell PowerEdge VRTX CMC、Dell EqualLogic ストレージアレイおよび MD アレイトラップの統合を展開するには、次の手順を実行します。

1. **probe\_integration** にある **dell** フォルダをコピーし、プローブコンポーネントをインストールしたシステムの **%NC\_RULES\_HOME%\include-snmpttrap** フォルダ内に置きます。  
 **メモ:** Linux を実行しているシステムでは、**\$NC\_RULES\_HOME/include-snmpttrap** フォルダを使用します。
2. **%NC\_RULES\_HOME%** フォルダに移動して **\$NC\_RULES\_HOME\snmpttrap-rules.file** 開き、以下の手順を実行します。
  - a. **include rules** セクションに次のコマンドを追加します :  

```
include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.rules"
```
  - b. **include lookup table** セクションに次のコマンドを追加します :  

```
include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.lookup"
```
3. コピーされた **dell** フォルダとそこにあるファイルが、IBM ガイドラインに従ったプローブルールの許可を持っていることを確認してください。詳細に関しては、IBM Netcool/OMNIbus マニュアルを参照してください。
4. 以下の手順を実行します。  
 サーバートラップ
  - a. **dell.master.include.lookup** ファイルにある **dell-StorageManagement-MIB.include.snmpttrap.lookup** ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
  - b. **dell.master.include.lookup** ファイルにある **dell-MIB-Dell-10892.include.snmpttrap.lookup** ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。

- c. **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell-StorageManagement-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- d. **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell-MIB-Dell-10892.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。

#### *EqualLogic* トラップ

- a. **dell.master.include.lookup** ファイルにある `equalLogic-EQLMEMBER-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- b. **dell.master.include.lookup** ファイルにある `equalLogic-EQLDISK-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- c. **dell.master.include.lookup** ファイルにある `equalLogic-SCSI-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- d. **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-EQLMEMBER-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- e. **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-EQLDISK-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- f. **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-SCSI-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- g. **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-ISCSI-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。

#### *OoB* サーバートラップ

- a. **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell-IDRAC-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- b. **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell-IDRAC-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。

#### *CMC, VRTX CMC* および *DRAC (iDRAC6, DRAC5, DRAC/MC)* トラップ

- a. **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell-RAC-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- b. **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell-RAC-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。

#### *PowerVault MD* ストレージアレイトラップ

- a. **dell.master.include.lookup** ファイルにある `dell-MDStorageArray-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
- b. **dell.master.include.rules** ファイルにある `dell-MDStorageArray-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。

5. OMNIbus MTTtrapd SNMP プローブサービス (**NCOMTTTRAPDProbe**) またはプロセス (**nco\_p\_mttrapd**) を再起動します。

## ObjectServer 統合のインストール

**objectserver\_integration** フォルダには次のファイルが含まれています。

- **delldevice\_confpack\_v\_2\_1.jar** — サーバー、iDRAC7 サーバー、CMC、VRTX CMC、DRAC5、iDRAC6、DRAC/MC、Dell EqualLogic ストレージアレイ、Dell PowerVault MD ストレージアレイ、Dell Connections Licence Manager (DCLM) および Dell OpenManage Essentials (OME) などの共通ツール用の、エクスポートされた Dell 統合自動トリガ、ツール、メニューおよび変換クラスを含む jar ファイルです。
- **delldevice\_int\_objectserver.ver** — 統合のバージョンファイルです。

ObjectServer をホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを展開するには、次の手順を実行します。

1. OMNIBus ObjectServer にアクセスするため、必要なセキュリティ権限で次のコマンドを実行します。

- a. Windows を実行しているシステムの場合

```
%OMNIHOME%\bin\ncfpack.bat -import -server <ObjectServer> -user  
<username> -password <password> -package <copiedfolder>  
\delldevice_confpack_v_2_1.jar
```

- b. Linux を実行しているシステムの場合

```
$OMNIHOME/bin/ncfpack -import -server <ObjectServer> -user  
<username> -password <password> -package <copied folder>/  
delldevice_confpack_v_2_1.jar
```



**メモ:** デフォルトでは、ObjectServer は NCOMS です。



**メモ:** ncfpack コマンドで Unsupported Operating System (サポートされていないオペレーティングシステム) エラーが表示される場合は、[ibm.com/support/docview.wss?crawler=1&uid=swg1IV28036](http://ibm.com/support/docview.wss?crawler=1&uid=swg1IV28036) にある解決法を参照してください。

2. デスクトップの イベントリスト で、**ファイル** → **再同期化** → **すべて** とクリックします。  
この処置により、jar ファイルからアップデートされた Dell ツールおよび変換クラス用の新規追加メニューアイテムが同期化されます。



**メモ:** 再同期化は、ObjectServer 統合でのみ実行できます。

3. ObjectServer がインストールされているシステムの %OMNIHOME% ディレクトリに **delldevice\_confpack\_v\_2\_1.jar** ファイルをコピーします。



**メモ:** Linux を実行しているシステムでは、**\$OMNIHOME** ディレクトリを使用します。

4. ウェブ GUI を再起動します。



**メモ:** 64 ビット linux を実行しているシステムで 64 ビット IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.4 向け Dell ツールを再設定するには、[「64 ビット linux を実行しているシステムでの IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.4 向け Dell ツールの再設定」](#) を参照してください。

## 64 ビット linux を実行しているシステムでの IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.4 向け Dell ツールの再設定

64 ビット linux を実行しているシステムで IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.4 向け Dell OpenManage Connection の本バージョンを再設定するには、次の手順を実行します。

- **LaunchDellOpenManageServerAdministratorConsole**
- **LaunchDellRemoteAccessControllerConsole**
- **LaunchDellDRACConsole**
- **LaunchDellVRTXCMCConsole**
- **LaunchDellChassisManagementControllerConsole**
- **Launch12GTrapConfigurationConsole**

再設定するには、OMNIBus ObjectServer にアクセスし、ObjectServer にログインするために必要なセキュリティ資格情報を入力します。

1. 設定ウィンドウで、**メニュー** → **ツール** を選択します。
2. 右ペインで **ツール** をダブルクリックして、**ツール** 詳細ウィンドウを起動します。
3. 実行可能タブをクリックし、  
\$(NCHOME)/platform/linux2x86/jre\_1.6.7/jre/bin/java

を次のように変更します。

```
$ (NCHOME) /platform/linux2x86/jre64_1.6.0/jre/bin/java
```

## ObjectServer での Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの設定

Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールは、設定された URL を使用してデフォルトブラウザにコンソールを起動します。

Windows と Linux を実行しているシステムでウェブサーバーコンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

1. OMNIbus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ権限を入力します。
2. 設定 ウィンドウで、メニュー → ツール と選択します。
3. Windows を実行しているシステムでは、右のペインにある **Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動 (Windows)** をダブルクリックして、**ツールの詳細** ウィンドウを起動します。

Linux を実行しているシステムでは、右のペインにある **Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動** をダブルクリックして、**ツールの詳細** ウィンドウを起動します。

4. 実行可能タブをクリックし、次のコマンドを編集します。

```
https://<Server Administrator Web Server Host/IP>:<Server Administrator Web Server PORT>/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node
```

Server Administrator ウェブサーバーの IP アドレスとポートを入力する必要があります。例えば、**https://11.95.145.156:1311/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node** となります。詳細に関しては、Server Administrator の文書を参照してください。

## ObjectServer での OpenManage Essentials コンソールの設定

OME コンソールは、設定された URL を使用してデフォルトブラウザでコンソールを起動します。

Windows を実行しているシステムで OME コンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

1. OMNIbus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ権限を入力します。
2. 設定 ウィンドウで、メニュー → ツール と選択します。
3. 右のペインにある **Dell OpenManage Essentials コンソールの起動 (Windows)** をダブルクリックして、**ツールの詳細** ウィンドウを起動します。
4. 実行可能タブをクリックし、次のコマンドを編集します。

```
https://<OpenManage Essentials Host/IP>:<OpenManage Essentials PORT>
```

OpenManage Essentials の IP アドレスとポートを入力する必要があります。例えば、**https://11.95.145.156:2607/** となります。詳細に関しては、**dell.com/support/manuals** にある『*OpenManage Essentials ユーザーズガイド*』を参照してください。

## ObjectServer での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定

Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager (MDSM) コンソールは、設定された URL を使用して、別のウィンドウでコンソールを起動します。

Windows および Linux を実行しているシステムで MDSM コンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

1. OMNIbus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ権限を入力します。
2. 設定 ウィンドウで、メニュー → ツール と選択します。

3. 右ペインにある **Dell Modular Disk Storage Manager** の起動をダブルクリックして、ツールの詳細 ウィンドウを起動します。
4. 実行可能タブをクリックし、次のコマンドを編集します。
  - Windows を実行しているシステムの場合  
`C:\Program Files (x86)\Dell\MD Storage Software\MD Storage Manager\client\Modular Disk Storage Manager Client.exe`
  - Linux を実行しているシステムの場合  
`/opt/dell/mdstoragesoftware/mdstoragemanager/client/SMclient`

詳細に関しては、[dell.com/support/manuals](http://dell.com/support/manuals) にある『*Modular Disk Storage Manager ユーザーズガイド*』を参照してください。

### ObjectServer での Dell Connections License Manager コンソールの設定

ObjectServer の Dell Connections License Manager (DCLM) コンソールは、設定された URL を使用して、デフォルトブラウザでコンソールを起動します。Windows および Linux を実行しているシステムで DCLM コンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

1. OMNIbus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ権限を入力します。
2. 設定 ウィンドウで、メニュー → ツール と選択します。
3. Windows を実行しているシステムで、右ペインにある **Dell Connection License Manager コンソールの起動 (Windows)** をダブルクリックして、ツールの詳細 ウィンドウを起動します。  
Linux を実行しているシステムで、右ペインにある **Dell Connection License Manager コンソールの起動** をダブルクリックして、ツールの詳細 ウィンドウを起動します。
4. 実行可能タブをクリックし、次のコマンドを編集します。  
`http://<DCLM IP/Host>:<DCLM Port>/DellLicenseManagement`  
 Connection License Manager の IP アドレスとポートを入力する必要があります。例えば、`http://DCLM.domain.com:8544/DellLicenceManagement` となります。詳細に関しては、Dell Connection License Manager の文書を参照してください。


## デスクトップ統合のインストール

Dell デバイス用 `desktop_integration` フォルダには、次のファイルが含まれています。


- `dell_OMNIbus_Connection_SNMP_Configurator_v_2_0.jar` — SNMP コミュニティ名文字列を設定します。
- `dell_OMNIbus_Connection_SNMP_Helper_v_2_0.jar` — サポートされている Dell デバイスのコンソールを起動します。
- `snmp4j-2.1.0.jar` — SNMP Helper がこのファイルを使用して Dell デバイスとの SNMP 通信を確立します。
- `dell_config.properties` — 暗号化された SNMP コミュニティ文字列が含まれています。
- `dellcmc_int_desktop.ver` — デスクトップ統合のバージョンファイル。
- `dell_OMNIbus_Connection_KB_Tool_v_2_1.jar` — トラップ宛先設定情報が含まれています。

デスクトップクライアントをホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを展開するには、次の手順を実行します。

1. デスクトップクライアントをインストールしたシステム上の `%OMNIHOME%` ディレクトリに、`dell_OMNIbus_Connection_SNMP_Configurator_v_2_0.jar`、`dell_OMNIbus_Connection_SNMP_Helper_v_2_0.jar`、`snmp4j-2.1.0.jar`、`dell_OMNIbus_Connection_KB_Tool_v_2_1.jar` および `dell_config.properties` ファイルをコピーします。

 **メモ:** Linux を実行しているシステムでは、**\$OMNIHOME** ディレクトリを使用します。

2. デスクトップクライアントをインストールしたシステムの **%OMNIHOME%** フォルダに、**delldevice\_int\_desktop.ver** ファイルをコピーします。
3. Dell SNMP コンフィギュレーターユーティリティを使用して **SNMP** コミュニティを設定します。詳細に関しては、「[SNMP コンフィギュレーターユーティリティ](#)」を参照してください。
4. OMNIBROWSER という名前の環境変数を追加して、デフォルトブラウザまたは希望するブラウザのパスにそれを設定します。

 **メモ:** これは、Windows を実行しているシステムと Linux を実行しているシステムに該当します。

## Web GUI 統合のインストール

**webgui\_integration** フォルダ内の **import** サブフォルダには、以下のファイルとサブフォルダが含まれています。

- **config** — 以下のファイルを含む **cgi-bin** フォルダがあります。
  - **omsalauncher\_linux.cgi**
  - **omsalauncher\_nt.cgi**
  - **idraclauncher\_linux.cgi**
  - **idraclauncher\_nt.cgi**
  - **cmclauncher\_linux.cgi**
  - **cmclauncher\_nt.cgi**
  - **vrxcmlauncher\_linux.cgi**
  - **vrxcmlauncher\_nt.cgi**
  - **draclauncher\_linux.cgi**
  - **draclauncher\_nt.cgi**
  - **kblauncher\_linux.cgi**
  - **kblauncher\_nt.cgi**
  - **eqllauncher\_nt.cgi**
  - **eqllauncher\_linux.cgi**
- **dell\_config.properties** — 暗号化された SNMP コミュニティ文字列が含まれています。
- **dell\_OMNIBus\_Connection\_SNMP\_Configurator\_v\_2\_0.jar** — SNMP コミュニティ名文字列を設定します。
- **dell\_OMNIBus\_Connection\_SNMP\_Helper\_v\_2\_1.jar** — OpenManage Server Administrator (OMSA)、Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC)、Dell CMC、VRTX CMC および DRAC (iDRAC6、DRAC5 および DRAC/MC) の URL を起動します。
- **delldevice\_int\_webgui.ver** — Web GUI 統合のバージョンファイル。
- **export.xml** — cgi スクリプトを登録するためのメニューとツールをエクスポートします。
- **snmp4j-2.1.0.jar** — SNMP Helper がこのファイルを使用して Dell デバイスとの SNMP 通信を確立します。

Web GUI をホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを展開するには、次の手順を実行します。

1. Web GUI コンポーネントをインストールしたシステム上の **<Web GUI home directory>** に、**dell\_OMNIBus\_Connection\_SNMP\_Configurator\_v\_2\_0.jar**、**dell\_OMNIBus\_Connection\_SNMP\_Helper\_v\_2\_0.jar**、**snmp4j-2.1.0.jar** および **dell\_config.properties** ファイルをコピーします。
2. Dell SNMP コンフィギュレーターユーティリティを使用して **SNMP** コミュニティを設定します。詳細に関しては、「[SNMP コンフィギュレーターユーティリティ](#)」を参照してください。
3. Web GUI コンポーネントがインストールされているシステムでは、**<Web GUI home directory>** に **delldevice\_int\_webgui.ver** ファイルをコピーします。



4. **webgui\_integration** フォルダを抽出した場所にあるインポートフォルダに移動して、統合ごとに次のコマンドを実行します。

Windows を実行しているシステムの場合

```
<Web GUI home directory>\waapi\bin\runwaapi -host <hostname> -user <Web GUI username> -password <Web GUI password> -file export.xml
```

Linux を実行しているシステムの場合

```
<Web GUI home directory>/waapi/bin/runwaapi -host <hostname> -user <Web GUI username> -password <Web GUI password> -file export.xml
```


5. **Web GUI** コンポーネントがデフォルト以外の場合にインストールされている場合、または **Windows** を実行しているシステムでは %NCHOME%\..\tipv2 以外、**Linux** を実行しているシステムでは \$NCHOME\..\tipv2 以外にインストールされている場合は、以下のコマンドを実行します。

Windows を実行しているシステムの場合

```
ln -sf $NCHOME/..\tipv2 <実際の TIPHOME の場所>
```

Linux を実行しているシステムの場合

```
mklink /J %NCHOME%\..\tipv2 <実際の TIPHOME の場所>
```

 **メモ:** Actual TIPHOME location は、Web GUI がインストールされているカスタムパスになります。

たとえば、次のとおりです。

Web GUI コンポーネントが


/opt/IBM/myWebGUI/tipv2 にインストールされている場合は、

次のコマンドを実行します。

```
"ln -sf $NCHOME/..\tipv2 /opt/IBM/myWebGUI/tipv2"
```

## Dell SNMP コンフィギュレーターユーティリティ

Dell SNMP コンフィギュレーターユーティリティを使用して、SNMP コミュニティ文字列をデスクトップおよびウェブ GUI 用に設定できます。

 **メモ:** Dell SNMP コンフィギュレーターユーティリティを使用してコミュニティ文字列を設定したら、同じコミュニティ文字列を OMSA、CMC、VRTX CMC、iDRAC7 および DRAC (iDRAC6、DRAC5 および DRAC/MC) コンソール起動用に使用できます。

関連リンク：

- [デスクトップ用 SNMP コンフィギュレーターユーティリティの使用](#)
- [Web GUI 用 SNMP コンフィギュレーターユーティリティの使用](#)

### デスクトップ用 SNMP コンフィギュレーターユーティリティの使用

Dell Server Configurator Utility を使用して SNMP コミュニティ文字列を設定するには、次の手順を実行します。

1. デスクトップコンポーネントがインストールされているシステムの %OMNIHOME% ディレクトリに移動します。

2. デスクトップ用の次のコマンドを実行します。

a) Windows を実行しているシステムの場合

```
%NCHOME%\platform\<specificplatform>\jre_1.6.7\jre\bin\java -  
Ddell.config.path=desktop -classpath %NCHOME%\omnibus  
\dell_OMNIbus_Connection_SNMP_Configurator_v_2_1.jar;%NCHOME%\omnibus  
\snmp4j-2.1.0.jar com.dell.openmanage.connections.SnmpConfigurator
```

b) Linux を実行しているシステムの場合

```
$NCHOME/platform/<specificplatform>/jre_1.6.7/jre/bin/java -  
Ddell.config.path=desktop -classpath $NCHOME/omnibus/
```

```
dell_OMNIBus_Connection_SNMP_Configurator_v_2_1.jar:$NCHOME/omnibus/  
snmp4j-2.1.0.jar com.dell.openmanage.connections.SnmpConfigurator
```

## Web GUI 用 SNMP コンフィギュレーターユーティリティの使用

SNMP コミュニティ文字列の設定に SNMP コンフィギュレーターユーティリティを使用するには、次の手順を実行します。

1. Web GUI コンポーネントがインストールされているシステムの Web GUI インストールディレクトリに移動します。
2. Web GUI 用の次のコマンドを実行します。

- a) Windows を実行しているシステムの場合

```
<Tivoli Integrated Portal home directory>\java\jre\bin\java -  
Ddell.config.path=webgui -classpath %NCHOME%\omnibus_webgui  
\dell_OMNIBus_Connection_SNMP_Configurator_v_2_1.jar;%NCHOME%  
\omnibus_webgui\snmp4j-2.1.0.jar  
com.dell.openmanage.connections.SnmpConfigurator
```

- b) Linux を実行しているシステムの場合

```
<Tivoli Integrated Portal home directory>/java/jre/bin/java -  
Ddell.config.path=webgui -classpath $NCHOME/omnibus_webgui/  
dell_OMNIBus_Connection_SNMP_Configurator_v_2_1.jar:$NCHOME/  
omnibus_webgui/snmp4j-2.1.0.jar  
com.dell.openmanage.connections.SnmpConfigurator
```

## Web GUI サーバーでの Dell ツールメニューのアップデート

Web GUI コンポーネントの アラート メニューで Dell ツールメニューをアップデートするには、次の手順を実行します。

1. 以下の手順を実行して、アラートメニューを編集します。
  - a) 管理 → イベント管理ツール とクリックします。
  - b) メニュー設定 に移動します。
  - c) 右ペインにある 使用できるメニュー でアラートを 選択します。
  - d) 変更 をクリックします。
  - e) 使用できるアイテム ドロップダウンリストから メニュー を選択します。
  - f) 現在のアイテムに Dell ツール を追加します。
  - g) 保存 をクリックします。
2. 管理 → 使用可能性 → イベント → アクティブイベントリスト (AEL) に移動して、リストを更新し、新しく追加されたメニューを同期させます。
3. Dell デバイスアラートを右クリックして、それぞれの Dell デバイスが使用可能であることを確認します。

## ウェブ GUI での Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの設定

Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動を設定するには、次の手順を実行します。

1. Web GUI にログインします。
2. 管理 → イベント管理ツール → ツール作成 とクリックします。
3. 右ペインで LaunchDellServerAdministratorWebServerConsole を選択して、ツール設定 ウィンドウを起動します。
4. 以下の URL を編集します。

```
https://<Server Administrator Web Server Host/IP>:<Server Administrator Web  
Server PORT>/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node
```

Server Administrator ウェブサーバーの IP アドレスとポートを入力する必要があります。例えば、<https://11.95.145.156:1311/omalogin.html?managedws=false&mnip=@Node> となります。詳細に関しては、Server Administrator の文書を参照してください。

## Web GUI での Dell OpenManage Essentials コンソールの設定

**Dell OpenManage Essentials の起動** コンソールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. 右ペインで **LaunchDellOpenManageEssentialsConsole** を選択して、**ツール設定** ウィンドウを起動します。
4. 以下の URL を編集します。

```
https://<OpenManage Essentials Host/IP>:<OpenManage Essentials PORT>
```

OME ウェブサーバーの IP アドレスとポートを入力する必要があります。例えば、<https://11.95.145.156:2607/> となります。詳細に関しては、[dell.com/support/manuals](https://dell.com/support/manuals) にある『OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。

## Web GUI での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定

**Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager** コンソールの起動を設定するには、次の手順を実行します。

1. Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. 右ペインで **LaunchDellOpenManageEssentialsConsole** を選択して、**ツール設定** ウィンドウを起動します。
4. 必要に応じて、以下のコマンドを更新します。

Windows を実行しているシステムの場合

```
"%PROGRAMFILES%\Dell\MD Storage Software\MD Storage Manager\client\Modular Disk Storage Manager Client.exe"
```

## Web GUI での Dell Connections License Manager コンソールの設定

**Dell Connections License Manager (DCLM)** コンソールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. 右ペインで **LaunchDellConnectionsLicenseManagerConsole** を選択して、**ツール設定** ウィンドウを起動します。
4. 以下の URL を編集します。

```
http://<DCLM IP/Host>:<DCLM Port>/DellLicenseManagement
```

Dell Connection License Manager の IP アドレスとポートを入力する必要があります。例えば、<http://DCLM.domain.com:8544/DellLicenceManagement> となります。詳細に関しては、Dell Connection License Manager の文書を参照してください。

## Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの Dell Server Administrator コンソールの設定

Linux を実行しているシステムで Dell Server Administrator コンソールの起動を設定するには、次の手順を実行します。

1. Linux を実行しているシステムの Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. **LaunchDellServerAdministratorConsole** をダブルクリックします。
4. URL セクションの CGI スクリプト名を **omsalauncher\_linux.cgi** に変更します。

## Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの iDRAC コンソールの設定

Linux を実行しているシステムで **iDRAC** の起動 ツールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Linux を実行しているシステムで Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. **LaunchDelliDRACConsole** をダブルクリックします。
4. URL セクションの CGI スクリプト名を **idraclauncher\_linux.cgi** に変更します。

## Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの Dell Chassis Management Controller コンソールの設定

Linux を実行しているシステムで **Launch ChassisManagement Controller** ツールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Linux を実行しているシステムで Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. **LaunchDellChassisManagementControllerConsole** をダブルクリックします。
4. URL セクションの CGI スクリプト名を **cmclauncher\_linux.cgi** に変更します。

## Linux を実行しているシステムにおける Web GUI での Dell PowerEdge VRTX Chassis Management Controller コンソールの設定

Linux を実行しているシステムで **Launch VRTXChassisManagement Controller** ツールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Linux を実行しているシステムの Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. **LaunchDellVRTXChassisManagementControllerConsole** をダブルクリックします。
4. URL セクションの CGI スクリプト名を **vraxcmclauncher\_linux.cgi** に変更します。

## Linux を実行しているシステムにおける Web GUI での Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager コンソールの設定

Linux を実行しているシステムで **Dell Modular Disk Storage Manager** コンソールの起動を設定するには、次の手順を実行します。

1. Linux を実行しているシステムの Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. **LaunchDellModularDiskStorageManagerConsole** をダブルクリックします。
4. 次のコマンドをアップデートします。

```
"/opt/dell/mdstoragesoftware/mdstoragemanager/client/SMclient"/
```

## Linux を実行しているシステムにおける Web GUI サーバーでの Dell Remote Access Controller コンソールの設定

Linux を実行しているシステムで **Dell Remote Access Controller** コンソールの起動ツールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Linux を実行しているシステムの Web GUI にログインします。
2. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** とクリックします。
3. **LaunchDellRemoteAccessControllerConsole** をダブルクリックします。
4. URL セクションの CGI スクリプト名を **idraclauncher\_linux.cgi** に変更します。



# Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection のアップグレード

Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection をアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. 既存の接続をアンインストールします。詳細に関しては、[dell.com/support/manuals](https://dell.com/support/manuals)にある『*Dell OpenManage Connection* インストールガイド』を参照してください。
2. 「[Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection のインストール](#)」に記載されているインストール手順に従って最新バージョンをインストールします。





# Dell OpenManage Connection for Netcool/ OMNIBus のアンインストール

Dell OpenManage Connection for Netcool/OMNIBus をアンインストールするには、コンポーネント固有ファイル  
をアンインストールまたは削除する必要があります。

## プローブ統合のアンインストール

プローブ統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. プローブコンポーネントをインストールしたシステムの **%NC\_RULES\_HOME%\include-snmpttrap** フォルダ  
に移動します。
  -  **メモ:** Linux を実行しているシステムでは、**\$NC\_RULES\_HOME/include-snmpttrap** フォルダを使用しま  
す。
2. `$NC_RULES_HOME\snmpttrap-rules.file` に移動し、以下のコマンドを削除します。
  - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/  
dell.master.include.rules"`
  - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/  
dell.master.include.lookup"`
3. **\$NC\_RULES\_HOME/include-snmpttrap** で **dell** フォルダを削除します。
4. OMNIBus MTTTrapd SNMP プロブサービス (NCOMTTTRAPDProbe) またはプロセス (nco\_p\_mttrapd) を再  
起動します。

## ObjectServer 統合のアンインストール

ObjectServer 統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. OMNIBus ObjectServer へのアクセス、および ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ権限を入力  
します。
2. 設定 ウィンドウで、**メニュー** → **ツール** と選択します。
3. 以下のツールを右クリックして **削除** をクリックします。
  - **Dell Server Administrator** コンソールを起動
  - **Dell Server Administrator** ウェブサーバーコンソールを起動
  - **Dell EqualLogic Group Manager** コンソールを起動
  - **iDRAC** コンソールを起動
  - **Dell Chassis Management Controller** コンソールを起動
  - **Dell VRTX Chassis Management Controller** コンソールを起動
  - **Dell OpenManage Essential** コンソールを起動
  - **Dell Connections License Manager** コンソールを起動
  - **Dell Modular Disk Storage Manager** コンソールを起動
  - **Dell 12G Server Trap Configuration Information** を起動

4. 設定 ウィンドウで、**メニュー**→**メニュー** を選択します。
5. **アラートメニュー** で、**Dell ツール** を選択します。
6. **Dell ツール** を右クリックし、**削除** をクリックします。
7. 設定 ウィンドウで、**自動化トリガ** に移動して、以下のトリガを削除します。
  - **dell\_omsa\_clear**
  - **dell\_omsa\_deduplicate\_clear**
  - **dell\_equallogic\_clear**
  - **dell\_equallogic\_deduplicate\_clear**
  - **dell\_idrac\_clear**
  - **dell\_idrac\_deduplicate\_clear**
  - **dell\_dclm\_clear**
  - **dell\_dclm\_deduplicate\_clear**
  - **dell\_mdarray\_clear**
  - **dell\_mdarray\_deduplicate\_clear**
8. 設定 ウィンドウで **視覚変換** に移動して、**クラス** を展開します。以下を右クリックして、**削除** をクリックします。
  - **Dell サーバー (2080)**
  - **Dell Equallogic (2085)**
  - **Dell iDRAC (2088)**
  - **Dell CMC (2086)**
  - **Dell VRTX CMC (2084)**
  - **Dell DCLM (2081)**
  - **Dell DRAC (2087)**
  - **Dell MD Storage Array (2809)**
9. ObjectServer がインストールされているシステムの **%OMNIHOME%** ディレクトリで、ファイル **delldevice\_int\_objectserver.ver** を削除します。
10. イベントリストを開いて、**ファイル**→**再同期**→**すべて** を選択します。
11. ウェブ GUI を再起動します。

## デスクトップ統合のアンインストール

デスクトップ統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. デスクトップ統合コンポーネントをインストールしたシステムの **%OMNIHOME%** ディレクトリに移動します。
2. 次の手順を実行します。
  - **delldevice\_int\_desktop.ver** ファイルを削除します。
  - **すべてのデスクトップ統合**—以下のファイルを削除します。
    - \* **delldevice\_int\_desktop.ver**
    - \* **dell\_OMNIbus\_Connection\_SNMP\_Configurator\_v\_2\_1.jar**
    - \* **dell\_OMNIbus\_Connection\_SNMP\_Helper\_v\_2\_1.jar**
    - \* **snmp4j-2.1.0.jar**
    - \* **dell\_config.properties**
    - \* **dell\_OMNIbus\_Connection\_KB\_Tool\_v\_2\_1.jar**


## ウェブ GUI 統合のアンインストール

ウェブ GUI 統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. ウェブ GUI にログインします。
2. **webgui\_integration** フォルダから以下のファイルを削除します。
  - **delldevice\_int\_webgui.ver**
  - **dell\_OMNIBus\_Connection\_SNMP\_Configurator\_v\_2\_1.jar**
  - **dell\_OMNIBus\_Connection\_SNMP\_Helper\_v\_2\_1.jar**
  - **snmp4j-2.1.0.jar**
  - **dell\_config.properties**
3. **管理** → **イベント管理ツール** → **ツール作成** に移動します。
4. 以下のツールを選択して、**削除** をクリックします。
  - **Dell Server Administrator** コンソールを起動
  - **Dell Server Administrator** ウェブサーバーコンソールを起動
  - **EqualLogic Group Manager** コンソールを起動
  - **iDRAC** コンソールを起動
  - **Dell Chassis Management Controller** コンソールを起動
  - **Dell VRTX Chassis Management Controller** コンソールを起動
  - **OpenManage Essentials** コンソールを起動
  - **Dell Modular Disk Storage Manager** コンソールを起動
  - **Dell Connection License Manager** コンソールを起動
  - **Dell 12G Server Trap Configuration Information** を起動
5. **管理** → **イベント管理ツール** → **メニュー設定** に移動します。
6. 利用可能メニューで、**Dell** ツールを選択して、**削除** をクリックします。
7. **管理** → **イベント管理ツール** → **CGI レジストリ** に移動します。
8. 以下の **.cgi** ファイルを選択して、**登録解除** をクリックします。
  - **omsalauncher\_linux.cgi**
  - **omsalauncher\_nt.cgi**
  - **idraclauncher\_linux.cgi**
  - **idraclauncher\_nt.cgi**
  - **cmclauncher\_linux.cgi**
  - **cmclauncher\_nt.cgi**
  - **vrxcmlauncher\_linux.cgi**
  - **vrxcmlauncher\_nt.cgi**
  - **draclauncher\_linux.cgi**
  - **draclauncher\_nt.cgi**
  - **kblauncher\_linux.cgi**
  - **kblauncher\_nt.cgi**
  - **eqlauncher\_nt.cgi**
  - **eqlauncher\_linux.cgi**
9. ウェブ GUI を再起動します。



## デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [dell.com/support](https://dell.com/support) にアクセスします
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある 国/地域の選択 ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。